

区民のページ

※人口は住民基本台帳による数（令和3年12月31日現在）

各区からのお知らせや
魅力・取り組みなどを紹介します。



人口：295,086人 面積：450.70km² ■北区役所 〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

北区 地域おこし協力隊 ～建部町吉田地区 隊員のご紹介～

●区役所の位置

令和3年5月から建部町吉田地区で地域おこし協力隊として活動を開始している濱野潤隊員を紹介します。

濱野隊員は、宮崎県宮崎市から家族で移住し、地域おこし協力隊として地域農業の支援を行っています。

主に水稻の栽培を行い、田植え、



▲濱野潤隊員

消毒、水管理、収穫といった全般的な過程に携わっています。また、耕作していない農地を借りて土壌の環境保全や信頼性の高い作物の生産を目指し、農薬や化学肥料を使わない有機農法を取り入れ、黒大根やニンジンなどの栽培を土づくりから行っています。

高齢化が進む建部町では、濱野隊員のように若い世代の人が定住してくれることは地域にとって喜ばしいことです。濱野隊員自身も吉田地区で活動するに当たり、「農業を学びながら同時に地域農業の力になり、この経験を糧にして自身の将来的な

定住へもつなげていきたい」と意欲的な思いを語っており、今後の活躍が期待されます。



●問い合わせ

建部支所総務民生課
☎086-722-1112



人口：147,853人 面積：51.24km² ■中区役所 〒703-8544 中区浜三丁目7-15

中区 点字ブロック発祥の地 ～ここから世界へ ここから未来へ～

●区役所の位置

中区の原尾島交差点には「点字ブロック発祥の地」を示すモニュメントがあります。これは市内に住んでいた故三宅精一氏が考案し、昭和42年3月18日に県立岡山盲学校に近い国道2号（現国道250号）原尾島交差点周辺に、世界で最初に敷設された点字ブロックの発祥を記したもの



です。点字ブロックとは、視覚障害者に安全に誘導するために地面や床面に敷設されているプレートです。普段何気なく目にする点字ブロックですが、平成13年に日本工業規格（JIS）で統一されるまでは、さまざまな形状がありました。点字ブロックに興味を持った学生などから多くの問い合わせがあるという県立岡山盲学校には、以前の形状の点字ブロックが残っています。

そして平成24年には、JIS規格を基に点字ブロックの国際規格が定められました。



最初に敷設されてから今年で55年目を迎える点字ブロックは、今では岡山市から日本全国へ、さらには世界中に普及しています。

●問い合わせ

中区役所市民保険年金課
☎086-901-1617

■各区役所への電話は、市役所代表番号からおつながじます。

市役所代表

☎086-803-1000

人口：93,569人 面積：160.53km²

■東区役所 〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4



●区役所の位置

東区 西大寺ファンタジー2022～西大寺夢灯籠～^{とうろう}

今年もJR西大寺駅前広場をはじめ西大寺観音院、岡山学芸館スクールガーデン、西大寺緑花公園百花プラザを会場に、西大寺の冬をきらびやかに彩る「西大寺ファンタジー2022」を開催します。

今年も、昨年より約1万球多い過去最大約6万2千球のLEDでライトアップし、新たに着物柄行燈も登場します。

和風のイルミネーションは毎年好評で、見どころの一つは、JR西大寺駅前広場中央にある地元小学生が絵付けした灯籠です。一つ一つ違う個性がある灯籠となっていますので、

ぜひ近くでご覧ください。

他にも広場中央では、地元の幼稚園児や中学・高校生などが描いた扇や、立体的な和傘のイルミネーションなどもあり、灯籠と相まって和の雰囲気を醸し出します。

2月1日から28日の期間中、毎日17時30分から22時まで点灯します。幻想的な光の世界を堪能できる「西



▲JR西大寺駅前広場の様子（昨年度）

大寺ファンタジー2022」の会場へ、皆さんぜひお越しください。



●問い合わせ

西大寺ファンタジー実行委員会
(東区役所総務・地域振興課内)

☎086-944-5038

人口：167,979人 面積：127.48km²

■南区役所 〒702-8544 南区浦安南町495-5



●区役所の位置

南区 海と川の豊かな恵み～岡山のり～

朝食の定番の「のり」は、古来、食卓に欠かせない食品として親しまれ、ビタミン、鉄分、ミネラルなどが豊富に含まれており、「1日3枚で医者いらず」とも言われています。

市内でのノリ養殖は、明治の頃から本格的に行われており、南区の小串漁業協同組合では、岡山の海と川の豊かな恵みを受けて成長した、高



▲のりの収穫の様子

品質なのりを生産しています。

岡山のりは海面に網を張る「浮き流し」養殖で、10月にのり網に種付けをすることから始まります。冷え込みが厳しい冬に網の張り込み作業や収穫を行い、乾のりなどに加工し、3月までが出荷のピークです。生産工程を分かりやすく動画で紹介していますので、掲載のQRコードからぜひご覧ください。

生産者の努力と品質へのこだわりにより作られた「岡山のり」は、艶やかで口どけがよく、口に含んだ瞬間、のり独特の香りと味、うま味が口いっぱい広がります。



毎年2月6日は、海からの贈り物であるのりに対する感謝の気持ちを込め、全国海苔貝類漁業協同組合連合会が定めた「海苔の日」です。岡山自慢の一品をぜひご賞味ください。

●問い合わせ

岡山県漁業協同組合連合会
(海苔課)

☎086-262-4446

